

浜岡原子力発電所 2 号機 ダスト放射線モニタの警報点灯について

2013 年 1 月 31 日

発生号機	2 号機(廃止措置中(第 1 段階))
発生年月日	2013 年 1 月 31 日
発生時の状況	<p>2013 年 1 月 31 日 13 時 31 分頃、2 号機の中央制御室に「R/B(原子炉建屋)ダストモニタ^{※1} 異常」、「T/B(タービン建屋)(I)ダストモニタ異常」、「T/B(II)ダストモニタ異常」、「RW/B(廃棄物処理建屋)ダストモニタ異常」の警報が点灯しました。</p> <p>中央制御室にて、ダスト放射線モニタの動作状態を監視している状態監視装置を確認したところ、すべてのダスト放射線モニタ(4 台)が停止していることを確認しました。</p> <p>警報発生前後におけるその他の放射線モニタ(エア放射線モニタ^{※2} およびプロセス放射線モニタ^{※3})の指示に変動はありませんでした。 また、外部への放射性物質の放出を監視する排気筒モニタ、放水ロモニタの指示にも変動はなく、発電所敷地内に設置しているモニタリングポストの指示にも変動はありませんでした。</p> <p>本事象は、発電所からの放射性物質の放出事象ではなく、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>現場にてダスト放射線モニタの状況を確認し、異常が確認されなかったことから、状態監視装置の電源を切り、再度電源を投入してダスト放射線モニタの再起動をおこなったところ、ダスト放射線モニタは正常に復旧しました。</p>
原因	状態監視装置の電源を入れ直したことにより、ダスト放射線モニタが正常に復旧したことから、状態監視装置の一過性の故障と推定しております。今後、状態監視装置の動作状況について監視してまいります。
お知らせ基準	本情報は、運転情報「表 2-6 エリア、プロセスモニタ等の警報が点灯したとき」に該当します。

※1 ダストモニタ(ダスト放射線モニタ) : 建屋内の放射性粒子濃度を測定している装置

※2 エリア放射線モニタ : 建屋内雰囲気放射線レベルを測定している装置

※3 プロセス放射線モニタ : 様々な系統の放射線レベルを測定している装置

以 上